

第59期第 1 四半期 決算補足説明資料

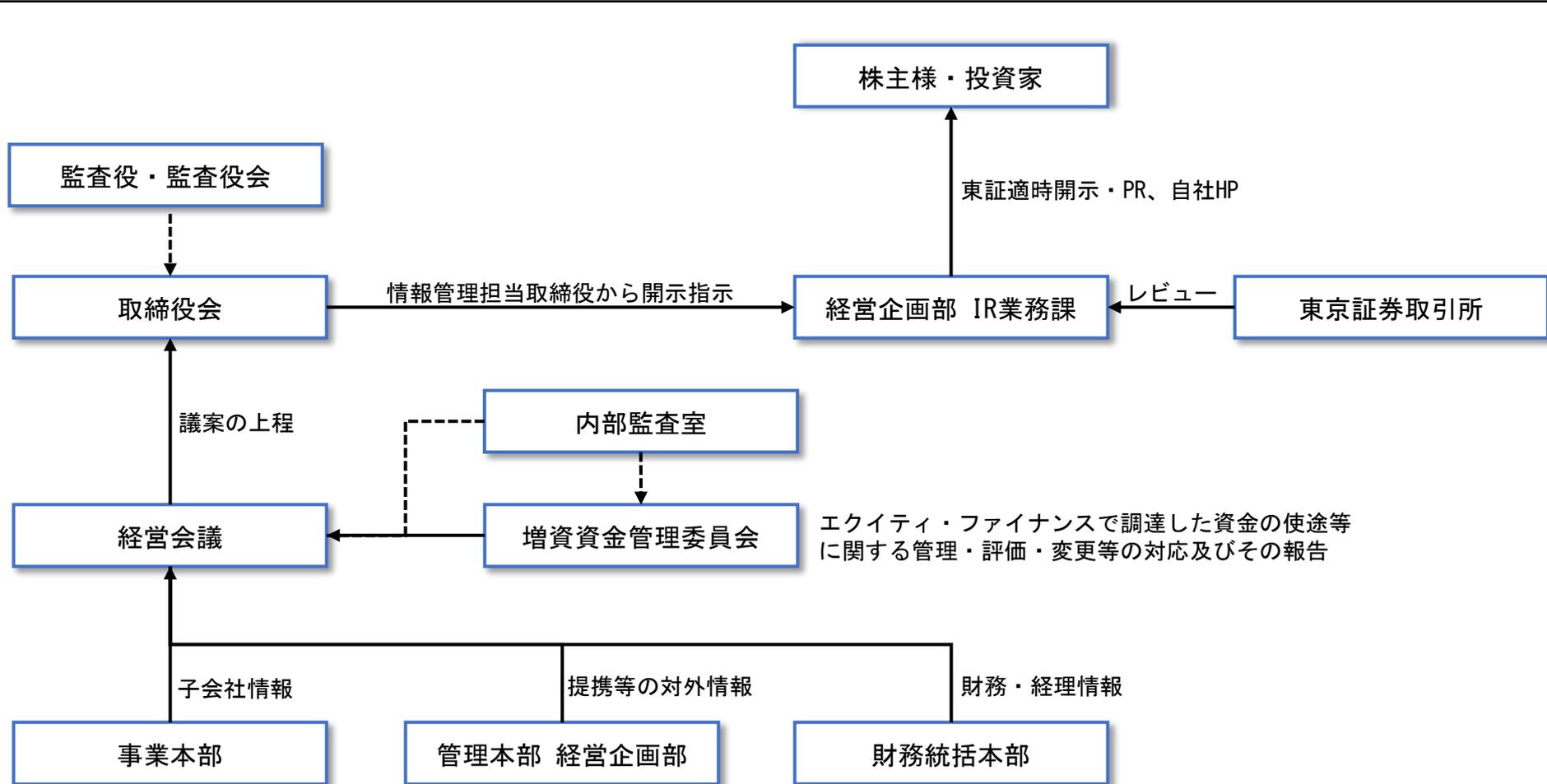
(2022年4月1日～2022年6月30日)

2022年8月15日
中小企業ホールディングス株式会社
代表取締役社長 岡本 武之

第59期第1四半期 決算補足説明資料のご案内にあたり	3
公表事項の進捗（1）	4
公表事項の進捗（2）	5
第25回新株予約権の状況等	6
（連結）経営指標	7
第59期第1四半期 決算のポイント	8
第59期 業績予想の進捗状況	9
事業セグメント トピックス	10
『中小企業ホールディングス プロジェクト』	11
特別利益の計上に関するお知らせ	12
第58回定時株主総会の報告	13
取締役会及び監査役会の開催状況	14
第59期第1四半期の情報開示	15

2021年4月21日開催の当社臨時株主による経営刷新以降、現経営陣により1年が経過しました。
この間、株主様・投資家向けに徹底した情報開示を進めることで、経営の透明性に努めて参りました。

【業務執行における意思決定及び情報開示の概要】



(注) 「適時開示の体制図」等は、当社が2022年6月27日に公表したガバナンス報告書（改訂版）をご参照ください。

直近の適時開示等の公表事項について、各進捗状況をお知らせ致します。
今後、当該公表事項の進展に伴い経過開示が必要となった場合、速やかに適時開示させていただきます。

- （中国上海）SHARKGULF TECHNOLOGIES GROUP LIMITEDとの業務提携契約の締結（2021年10月29日公表）
本年6月に日本に到着した電動スクーター（エンジン換算で50cc、125cc）の走行テストを実施。（2022年6月13日公表）
走行テストを完了し、現在販売契約の締結に向け協議を進めております。

- 愛知県中古自動車販売商工組合（JU愛知）と子会社(株)JPマテリアルとの業務提携契約等の締結（2022年2月1日公表）
(株)JPマテリアルがシステムを依頼している先において問題が生じたため、業務提携によるJU愛知の会員向けECサイトの運用開始が遅れております。現在事業開始に向け取り組んでおります。

- 子会社(株)サニーダの異動（株式譲渡）（2022年4月21日公表）
連結子会社の(株)サニーダを邦徳建設(株)に2022年5月16日に譲渡しました。
これにより当社は第59期において、株式譲渡に伴う特別利益3,638千円を計上しました。
(注) 本件に関しては、本書12頁をご参照願います。

- 子会社(株)のら猫バンクの設立（2022年4月21日公表）
2021年11月4日に当社が提携を発表した一般社団法人花の木シェルターの代表者である阪田泰志氏が取締役として加わる新会社「(株)のら猫バンク」（東京都千代田区神田錦町三丁目4番地2、代表取締役 岡本 武之、取締役 阪田 泰志）を2022年4月27日に設立しました。
現在、野良猫保護施設の不動産選定及び会員向けサービスを行うためのアプリの制作を進めております。
本年第2四半期中のサービス開始を目指しております。

■ 旧子会社クレア(株)に対する訴訟提起（2022年5月16日提訴）

2021年4月20日にクレア(株)から代物弁済された一部がクレア(株)によって第三者に売却されていることが判明し、他の代物弁済の目的物についても調査を進めたところ価値を有していないと認められたため、当社は、クレア(株)に対する未収債権の回収のため、クレア(株)に対し貸金返還請求を目的とした訴訟を2022年5月16日に東京地方裁判所に提起しました。

現在、代理人弁護士を通じ司法対応を進めております。

■ インド現地法人の設立の準備（2022年5月31日公表）

当社は、2022年5月31日付けで公表しましたように、今期中を目途にインド現地法人の設立をすることと致しました。

現在、賢進&カンパニー合同会社のコンサルティングを受けながら、設立予定の現地法人の所在地や人員等の体制について検討を進めております。

■ (香港)Mini Home Media Limitedと覚書を締結（2022年6月22日公表）

当社は、(香港)Mini Home Media Limitedが運営する越境ECプラットフォームでメイドインジャパン商品の販売について覚書を締結し、現在、本契約締結並びに事業開始に向け準備を進めております。

■ 第25回新株予約権の概要

割 当 日：2021年12月30日
 新株予約権の総数：360,500個（1個あたりの目的である株式数100株）
 発行価額：総額17,304,000円（新株予約権1個当たり48円）
 当該発行による潜在株式数：36,050,000株
 資金調達額：1,747,704,000円（新株予約権発行分：17,304,000円、新株予約権行使分：1,730,400,000円）
 行使価額：48円
 行使期間：2021年12月30日～2022年12月29日
 割 当 先：田中勇樹 82,400個、(株)スター 51,500個、FIRST LINK INC LIMITED 82,400個、山城延子 103,000個
 玉岡益健 30,900個、一般社団法人日本介護事業連合会 10,300個

■ 手取金の使途（2022年7月14日最新の資金使途変更の内容）

手取金の使途	内 訳	金 額	充当済み額	支出時期
クリア建設(株)の事業資金として	邦徳建設(株)からの受注に対する下請業者への支払い資金	48,000千円	48,000千円	2022年2月
V BLOCK販売(株)の事業資金として	(a) 寄付及び配布用サンプルの仕入資金 (b) 広告制作費 (c) 広告宣伝費 (d) 仕入資金	15,000千円 50,000千円 189,920千円 650,000千円	1,264千円	2022年7月～12月 2022年7月～12月 2022年7月～12月 2022年1月～12月
(株)JPマテリアルの事業資金として	(a) 広告宣伝活動費 (b) 販売促進費 (c) 販促物製作費 (d) 仕入資金	80,000千円 10,000千円 10,000千円 30,000千円	12,401千円 7,256千円	2022年4月～12月 2022年7月～12月 2022年7月～12月 2022年4月～12月
『中小企業ホールディングスプロジェクト』の買収資金等として	(a) 買収候補先企業の募集のための周知活動費 (b) デューデリジェンス費用 (c) 現金による買収資金等 (d) 買収企業の事業にかかる投融資 イ) 当社子会社への貸付 ロ) 当社グループ会社と外部提携先との事業シナジーによる新規事業のための新会社設立を含む事業資金 (e) 当社との株式交換による買収となった場合の登記関連費用等	100,000千円 10,000千円 100,000千円 386,500千円 (152,000千円) (234,500千円) 10,000千円		2022年7月～12月 2022年7月～12月 2022年7月～12月 2022年7月～12月 2022年7月～12月
合計		1,689,420千円	68,903千円	

(注) 2022年7月14日現在の第25回新株予約権の行使総額：72,000千円（行使済み個数：15,000個、未行使個数：345,500個）
 2021年12月30日に併せて発行した新株式（払込総額346,080千円）の資金使途は、全額クリア建設(株)への貸付金として充当し完了しております。

【第59期第1四半期の(連結)経営指標及び主な要因】

	第58期第1四半期 (2022年3月期)	第59期第1四半期 (2023年3月期)	主な要因
売上高	78,770千円	1,172,694千円	建設事業の売上増加によります。
営業利益	△152,930千円	△16,507千円	赤字子会社及び本社管理部門のコストの影響によります。
経常利益	△194,471千円	△16,322千円	上記同様です。
当期純利益	△276,616千円	△24,145千円	建設子会社の法人税増加が、経常損失との差額となります。
親会社に帰属する当期純利益	△276,616千円	△24,145千円	上記同様です。
純資産	985,389千円	768,153千円	前期の当期純損失の影響による減少です。
総資産	1,120,932千円	1,880,473千円	完成工事未収入金等が増加したことによるものです。
1株当たり純資産	3.95円	2.97円	純資産額の減少によるものです。
1当たり当期純利益	△1.11円	△0.09円	発行済株式総数258,251,756株で算出しております。
自己資本比率	87.9%	39.4%	手元CFを可能な限り事業に拠出し、総資産増加によるものです。
現金及び現金同等物の期末残高	66,492千円	45,165千円	手元CFを可能な限り事業に拠出したことによります。
従業員数(2022年6月30日現在)	20人	18人	子会社(株)サニーダの売却による減少によります。

- (注) 1. 当社グループは、四半期決算に関し、「営業キャッシュ・フロー」、「投資活動キャッシュ・フロー」、「財務活動キャッシュ・フロー」の計算を実施しておりません。
2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前期(2022年3月期)から適用し、当第1四半期連結累計期間に係わる主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となります。
3. 当社グループは、前連結会計年度まで継続的に当期純損失を計上しており、当第1四半期連結累計期間におきましても24,145千円の親会社に帰属する四半期純損失を計上致しました。当社グループは、これら継続する当該状況を改善すべく事業再構築と企業価値の向上ならびに管理体制の強化に向けて取り組んでおりますが、当第1四半期連結累計期間において当該状況が改善するまでには至りませんでした。当該状況が改善されない限り、当社グループが事業活動を継続するために必要な資金の調達が困難となり、債務超過に陥る可能性が潜在しているため、当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は、第59期第1四半期において営業黒字には至っておりませんが、通期の事業計画に対し概ね計画どおりの進捗であるため本年5月16日に公表した今期予想は修正せず、引続き目標達成に努めて参ります。

(連結) 売上高 1,172,694千円

- ・ 建設事業の売上高は予定どおり推移しております。
第2四半期以降、新たな事業資金の確保に取り組み、新規受注増を目指します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症向け防疫商品であるV BLOCKシリーズや可視化キットの販売について、積極的に広告展開できなかつたため売上を伸ばすことができませんでした。
- ・ オートモビル関連事業において第1四半期中はブランド強化を目的に広告の制作に注力しました。第2四半期以降、積極的に広告展開を進め売上増加を目指します。

(連結) 営業損益 △16,507千円

- ・ 建設事業において、前期から手掛けた工事の完工が44案件（4月から6月までの巧栄ビルド(株)とクレア建設(株)の合計）となりました。35件の完工が第2四半期以降にずれしており利益計上が第2四半期以降となりますが、今期中に完工予定であります。
（注）当社は、個々の請負による利益を完工時に計上し、進行期間は原価支払と売上高を同等額で計上する会計方法を採用しております。
- ・ 販売促進費等の先行支出があり黒字化には至っておりませんが、建設事業は黒字化を達成しております。
また、本社管理費も月額300万円程度削減を果たしており、黒字化に向け全社的に取り組んでおります。

2022年5月16日付け2022年3月期（第58期）決算短信で公表した第59期（2023年3月期）の業績予想の進捗状況。

【第59期 業績予想】

	通期計画値	第1四半期実績	達成率
売上高	6,000百万円	1,172百万円	19.5%
営業損益	200百万円	△16百万円	—
経常損益	200百万円	△16百万円	—
親会社に帰属する当期純利益	200百万円	△24百万円	—
1株当たり当期純利益	0.77円	—	—

(注) 1株当たり当期純利益の計算に使用した発行済株式数は258,251,756株（2022年3月31日現在）です。
 当該業績予想は、各子会社の業績目標に対し当社内で検証し、対外的な公表値として決定したものです。
 営業損益には、本社経費等も加味されております。

【各子会社の計画（目標）と実績、達成状況】

		建設事業	オートモービル関連事業	コスメ衛生関連事業	その他事業
売上高	計画	5,800百万円	67百万円	210百万円	27百万円
	実績	1,154百万円	12百万円	6百万円	—
	達成率	19.8%	17.9%	2.9%	%
営業損益	計画	550百万円	△19百万円	17百万円	△20百万円
	実績	66百万円	△16百万円	△0.06百万円	△0.32百万円
	達成率	12.0%	—%	—%	%

(注) 子会社ごとに独自に目標設定していることから、上記の計画（目標）と当社が公表する業績予想との数値は若干相違します。
 上記の建設事業の各数値は、巧栄ビルド(株)及びクレア建設(株)の合計値となっております。現在、新規受注は巧栄ビルド(株)が請負っております。
 (株)のら猫バンクの事業開始は、本年9月以降となります。

■ 建設事業〔クレア建設(株)・巧栄ビルド(株)〕

需要が旺盛な大規模修繕工事を中心に受注及び工事売上高が順調に推移しており、引き続き今後の受注拡大に向けて資金・資材・人材の確保に努めて参ります。

当第1四半期の完工	完工件数
大規模修繕	26件
新築工事	15件
足場架設工事	3件
合計	44件

■ オートモービル関連事業〔(株)JPマテリアル <https://www.redseed.jp>〕

原油原材料価格が上昇したため販売価格に転嫁を進めました。

ブランディング強化によるシェア拡大を目指し、広告宣伝並びに販売促進活動に積極的に取り組んで参ります。

■ コスメ衛生関連事業〔V BLOCK販売(株) <https://v-blocks.co.jp>〕

コロナウイルス対策商品の広告宣伝費用の予算を十分に確保出来なかったため売上増加を実現できておりません。

限られた予算の中で有効的に広告宣伝活動を展開し、売上増加並びに販路拡大に取り組んで参ります。

媒体別	出稿回数
雑誌広告	1回
新聞広告	3回
その他の広告	2回

■ その他事業〔(株)のら猫バンク〕

(株)のら猫バンクによる『野良猫ゼロ プロジェクト』を推進。

第1号シェルターとなる不動産物件の選定を進めており、WEBサイト及びアプリの稼働を2022年9月末開始予定。

当社は、昨年4月の経営刷新の際、当社の目指す事業コンセプトとして、我が国の中小企業が抱える後継者不足等の問題解決の一助になるべく、様々な業種の中小企業を当社の買収による方法で迎え入れることを表明致しました。本取り組みを当社は『中小企業ホールディングス プロジェクト』と称しております。

■ 第1回スケジュール

- ① エントリー期間：2022年9月30日まで
- ② 書類選考：2022年10月15日まで
- ③ 面談・デューデリ・価値算定：2022年10月30日
- ④ 株式交換等の買収手続き：2022年11月下旬

(注) 広告出稿の関係で、全体のスケジュールを1ヶ月ほど延長しております。当該スケジュールが最新となります。上記の各日程は、変更になる可能性があります。最新情報は、当社HPをご覧ください。直接ご連絡ください。

■ エントリー方法

当社グループの一員になることをご希望される中小企業オーナー様は、以下の方法でエントリーをお願い致します。

【郵送の場合】

貴社説明資料(法人名、代表社名、住所、電話番号、担当者氏名、担当者メールアドレス、HPのURL)と3期分決算書を同封の上、

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目4番地2 藤和神田錦町ビル4階
中小企業ホールディングス株式会社 プロジェクト担当者宛

にお送りください。

(簡易書留やレターパック等の追跡ができるものでのご郵送頂けると幸いです)

【メールの場合】

貴社説明資料(法人名、代表社名、住所、電話番号、担当者氏名、担当者メールアドレス、HPのURL)と3期分決算書を添付いただき、プロジェクト担当者宛へお送りください。

メールアドレス：info@chusho-hd.co.jp

■ 本件のお問合せ先

お電話：03-6825-7100

メール：info@chusho-hd.co.jp

本日、連結子会社(株)サニーダの売却に伴う損益発生による、その差額を特別利益として計上したことを公表しております。

- 2023年3月期第1四半期 決算短信（2022年8月15日公表）
適時開示「特別利益の計上に関するお知らせ」

子会社の連結除外に伴う特別利益の計上について

当社は、2022年5月16日付けで連結子会社の(株)サニーダの全株式を第三者に譲渡致しました。これに関し、当社及び譲渡先との間で株式譲渡契約を締結した際の2022年4月21日付け適時開示「連結子会社の異動(株式譲渡)及び特別損失の計上に関するお知らせ」において、当該株式譲渡に伴い特別損失の計上があると記しましたが、第1四半期決算処理において下記のような最終的な結果となりました。

連結除外に伴う子会社株式売却益11,023千円に対し、当社が(株)サニーダの全株式の譲渡条件として(株)サニーダが有する公租公課等の債務整理のために当社が支出した7,384千円が発生しており、(株)サニーダの売却に伴う損益の差額として3,638千円を子会社株式売却益として特別利益に計上致しました。

【追加説明】

当社は、連結業績への寄与度が低い(株)サニーダの帰趨について検討して参りました。

検討の結果、当社及び当社の連結子会社であるMILLENNIUM INVESTMENT(株)からの貸付金（当社：283,009千円、MILLENNIUM INVESTMENT(株)：80,000千円）の回収は現状では困難であり、かつ、每期経常赤字であることから第三者への売却を進めました。

5月16日付けで当社の連結子会社である巧栄ビルド(株)の取引先である邦徳建設(株)に譲渡することとなり、その結果生じたのが本日公表の特別利益です。

実際にキャッシュとして受領した金額は株式譲渡代金992千円及び債権譲渡代金で、(株)サニーダの売却に伴う債務整理として当社が7,384千円を負担しており、差し引き6,392千円のキャッシュアウトとなっております。

業績に与える影響

本件につきましては、本日公表の「2023年3月期第1四半期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

■ 第58回定時株主総会（2022年6月27日開催）

- 報告事項 1. 第58期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第58期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項 第1号議案 定款一部変更の件

本議案は出席株主数（事前行使分を含む。）の3分の2の賛成により可決されています。

可決の結果、変更された内容

- ・今後事業化を進める可能性のある事業について定款第2条（目的）の追加及び変更実施。
- ・本店を移動することに伴い、定款第3条（本店の所在地）を「千代田区」に変更。
- ・定款第5条の発行可能株式総数472,072,944株を、1,000,000,000株に変更。
- ・電子提供措置をとる事項のうち、書面交付を請求した株主に交付する書面に記載する事項範囲を法務省令で定める限定することが出来るようにするため、定款第12条に第2項を新設。

【ご質問と回答】 ※株主様からのご質問及びその回答を要約し列挙しております。紙面の関係で全てのご質問を記載しておりません。

昨今の株価についての見解	株価の上昇に寄与すべく株主様のご期待に沿い業績向上を図りたい一心で日々業務に取り組んでおります。残念ながら、前期は旧経営陣の残した様々な経営課題の対処に時間を費やすこととなってしまいました。今期は、業績向上に邁進したい所存です。
外部との提携を多く発表しているが、進捗状況は	※本書4頁、5項をご参照願います。
資金調達的手段として第2回有償ストックオプションを行使しないのか	本年2月に役員4名により会社に貸付し運転資金対応を致しました。ストックオプションの行使も必要に応じ検討して参ります。
業績が良くない会社を買収することは避けるべき	現況業績が良くなくても、当社グループとのシナジーで回復や成長の見込みが考えられる場合、買収します。
「中期経営計画」を発表しないのか	旧経営陣が市場との対話を怠ってきたため、現経営陣は市場との対話を重視した経営に努めております。 今現在は公表した業績予想等に着実に取り組み、その結果としての精度が高まった後「中期経営計画」を発表します。
『中小企業ホールディングスプロジェクト』の進捗状況は	※本書11頁をご参照願います。
建設事業に特化すべきでないか	祖業である建設事業の発展は、当社の収益の基盤をなすもので、今後も注力致します。グループ全体では、様々な事業の集合体による強さを目指したいと考えております。
発行可能株式総数を10億株にした具体的な理由	株式交換による買収をするための準備として今回付議させていただきました。ただし、直ぐに必要な株数ではなく、将来を見据えた準備であるをご理解願います。

【取締役会】

日付	取締役		監査役		議案		決議により実施した適時開示等
	定数	出席数	定数	出席数	議案数	可決数	
2022年4月14日	5名	4名	3名	3名	0	0	—
2022年4月21日	5名	5名	3名	3名	2	2	「連結子会社（株）サニーダ」の異動（株式譲渡）及び特別損失の計上に関するお知らせ 「子会社（株）のら猫バンク」設立に関するお知らせ」
2022年5月10日	5名	4名	3名	2名	0	0	—
2022年5月13日	5名	5名	3名	3名	1	1	—
2022年5月16日	5名	4名	3名	3名	1	1	「第58期 決算短信」 「第58期 決算補足説明資料」 「営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ」
2022年5月31日	5名	4名	3名	3名	1	1	「インド現地法人設立準備に関するお知らせ」
2022年6月2日	5名	4名	3名	3名	4	4	「第58回定時株主総会招集通知ご通知」
2022年6月22日	5名	5名	3名	2名	1	1	「（香港）Mini Home Media Limitedとの覚書の締結に関するお知らせ」
2022年6月27日	5名	4名	3名	2名	—	—	「第58回定時株主総会の議決権行使結果に関するお知らせ」

【監査役会】 監査役数：3名

2022年4月14日	期末監査の進捗状況についての報告。 会計監査人との意見交換、決算に向けての課題検討。
2022年5月16日	各監査役から監査結果報告。
2022年6月2日	日本公認会計士協会の品質レビュー報告。 会計監査人との意見交換。 有価証券報告書添付の監査意見書等の内容のレビュー並びに承認。

日付	IR情報（適時開示）	要旨
2022年4月21日	連結子会社の異動（株式譲渡）及び特別損失の計上に関するお知らせ	連結子会社(株)サニーダの全株式を邦徳建設(株)に譲渡することを決議。
2022年4月21日	子会社設立に関するお知らせ	『野良猫ゼロ プロジェクト』を推進するため、今般当該業務提携契約に基づき子会社を設立することを決定。
2022年4月21日	（開示事項の再変更）「『中小企業ホールディングス プロジェクト』に関するお知らせ」についての開示事項の再変更のお知らせ	『第1回中小企業ホールディングス プロジェクト』のスケジュール変更。
2022年5月2日	新株予約権の月間行使状況	第25回新株予約権の2022年4月度月間行使状況。
2022年5月16日	営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ	第58期（2022年3月期）決算において営業外費用及び特別損失等を計上。
2022年5月16日	2022年3月期 連結業績予想値と決算値の差異に関するお知らせ	2022年3月期通期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結業績予想値と決算値の差異の説明。
2022年5月16日	決算補足説明資料	「第58期決算短信」の内容を補う目的で第58期の経営全般に関する情報等の資料公表。
2022年5月16日	（開示事項の経過）2022年3月期第1四半期計上の営業外費用についてのお知らせ	2022年3月29日付けの取引相手先との和解締結により、該当費用が確定。
2022年5月31日	インド現地法人設立準備に関するお知らせ	インド現地法人の設立の準備を開始。
2022年6月1日	新株予約権の月間行使状況	第25回新株予約権の2022年5月度の月間行使状況。
2022年6月2日	定款の一部変更に関するお知らせ	2022年6月27日開催予定の第58回定時株主総会に「定款一部変更の件」を付議することを決議。
2022年6月10日	第58回定時株主総会招集ご通知	当社第58回定時株主総会開催のご案内。
2022年6月11日	招集通知記載事項の一部訂正について	「第58回定時株主総会招集ご通知」の記載事項の一部に誤記の訂正事項を掲載。
2022年6月22日	（香港）Mini Home Media Limitedとの覚書の締結に関するお知らせ	（香港）Mini Home Media Limitedとの間で、同社が運営する越境ECプラットフォームにおけるメイドインジャパン商品の販売について覚書を締結。
2022年6月27日	第58回定時株主総会の議決権行使結果に関するお知らせ	2022年6月27日付け第58回定時株主総会の議決権行使結果の公表。

日付	NEWS	要旨
2022年4月15日	当社提携先の一般社団法人花の木シェルターの代表理事阪田 泰志氏が『坂上どうぶつ王国』に再登場！！	（一般）花の木シェルターの代表理事 阪田泰志氏がフジテレビ『坂上どうぶつ王国』に出演。
2022年4月26日	「ダチョウ抗体 新型コロナウイルス可視化キット」先行販売開始のお知らせ	本年5月9日からの「ダチョウ抗体 新型コロナウイルス 可視化キット」の先行販売（限定500セット）。
2022年6月13日	電動スクーターに関するSHARKGULF TECHNOLOGIES GROUP LIMITEDとの業務提携の進捗についてのお知らせ	HARKGULF TECHNOLOGIES GROUP LIMITEDとの業務提携契約に基づき販売予定車種の走行テストを行った結果が良好で、業務提携契約の次の段階に進展。

日付	財務情報
2022年5月16日	2022年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）

日付	コーポレート・ガバナンス関係
2022年6月27日	コーポレート・ガバナンス報告書（改訂版）

- 本書は、本日公表された当社グループの「2023年3月期 第1四半期決算短信」の内容を補う目的で第59期第1四半期の経営全般に関する情報等について記したもので、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本書の内容に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関する最終決定はご自身の判断において行われるようお願い致します。
- 本書に掲載している内容のうち過去の歴史的事実以外のものは、一定の前提のもとに作成した将来の見通しであり、また2022年8月15日現在で入手可能な情報等に基づく当社の経営陣の判断に委ねられております。従いまして、経済動向や市場環境、地政学的リスク、当社グループ会社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等によりこれらの将来予想とは異なる場合があります。当社は本書を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。本書にある将来に関する予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控え願います。